

## 平成27年度業務棚卸評価における総括

【環境部】

評価の総括	
<p>【評価について（現状と課題）】</p> <p>業務計画に位置づけられた重点事業のうち、目標値を達成できなかった環境保全課の地域猫活動モデル支援事業をC評価に、資源循環課の資源化促進事業をB評価としています。</p> <p>環境部の業務計画に位置づけた事業では、30事業のうち27事業でA評価としていることから、おおむね順調に進捗しています。なお、B・Cと評価したそれぞれの事業については、目標達成に向けた新たな事業展開を進めます。</p> <p>C評価とした地域猫活動モデル支援事業については、地域に出向き、事業への理解を求めてきましたが、合意形成に至らず、2地区での実施にとどまりました。地域内の温度差等があり、個人で世話をするのではなく地域全体で世話をすることへの理解に当然のことながら時間がかかるものですが、今後も丁寧に説明を行っていきます。</p> <p>B評価の資源化促進事業については、ペットボトルやびん・かんなど資源物そのものの軽量化が進んでいることもあり、一つの要因と考えられます。</p> <p>いずれの事業も、事業手法等の見直しが課題となっています。</p>	
<p>【今後の方向性】</p> <p>環境部としては、環境の保全及び資源循環型社会の形成を目指し、市の責務として環境基本計画、一般廃棄物ごみ処理基本計画など関連諸施策、事務事業を着実に推進します。</p> <p>それぞれの事業の実施にあたっては、行政経営の視点はもちろんのこと、長期的、かつ公民連携や広域的な視点をもって事業を検討、計画、実施してまいります。</p>	

## 平成27年度業務棚卸評価における事務事業数

平成26年度の取組に対する評価と事業の方向性									
事務事業数	活動数			事業の方向性					
				拡大	現状維持	縮小	廃止に向けて検討	休・廃止	終了
94	359	評価の数	A	5	72	0	0	0	0
			B	0	5	0	0	0	0
			C	0	2	0	0	0	0
			D	0	0	0	0	0	0
			E	0	0	0	0	0	0
			Z	0	0	0	0	0	0
		共通事務、災害 応急対策活動	10						

平成27年度の新規事業									
事務事業数	活動数			拡大	現状維持	縮小	廃止に向けて検討	休・廃止	終了
1	2			0	1	0	0	0	0
【新規事業名】 粗大ごみ処理施設の整備									

### A評価以外の事業の内訳

B評価の主な事業（業務棚卸しにおける事務事業全体の決算額が100万円以上）	
ごみの減量化・資源化に関する支援業務 資源化促進事業 ごみの排出抑制推進事業	資源循環課 資源循環課 資源循環課
C評価の主な事業	
地域猫活動モデル支援事業 職員の労働安全管理事務	環境保全課 環境事業センター
D評価の事業	
E評価の事業	
Z評価の事業	

### 事業の方向性の内訳

縮小
休・廃止に向けて検討
休・廃止
終了

## 環境部各課における課題の整理と事業手法の検討

※各課においてB～Z評価とした事業及びA評価の中で課題のある事業を掲載。

### 環境政策課

事業名	26年度の取組に対する評価	事業の課題
「きれいなちがさき条例」周知事業	B	市域の美観が保たれ市民の健康的な生活環境を守るという「きれいなちがさき条例」周知事業の目的及び苦情件数0件という目標指標の達成に向けて、まずは苦情件数の多い茅ヶ崎駅南口喫煙所の移設及び廃止に向けた取り組みを重点的に進める必要があります。現在、平成27年度中の廃止に向けてJRや地元自治会など関係機関との調整を行っています。
ちがさきエコネット事業の推進	A	ポータルサイトの充実のため、サイトで実施している「エコファミリー」、「エコ事業者」などの登録者の拡大とこまめな情報更新など、閲覧数や利用者の利便性向上に向けた運営を行っていく必要があります。
<b>広域連携及び公民連携の視点</b>		
<p><b>【広域連携の視点】</b> 2市1町広域環境部会事務において、藤沢市、寒川町と地球温暖化対策の推進に向けた事業を共同で実施してきましたが、立ち上げから7年目を迎え、市町村振興協会からの助成金が事業費の1/2となった昨年度から事業を縮小しています。現状は市民向けの環境関連バスツアーなどのイベントの共同実施が主な事業になってきているため、今後の部会のあり方や事業計画などを見直していく必要があります。今後、部会の検討課題として提案します。</p> <p><b>【公民連携の視点】</b> 太陽光発電クレジット事業に関して、事業開始から1年が経過し、クレジットの集計、認証、売却といった具体的な作業が始まります。作業の実施に際して、NPO法人と詳細な作業確認を行いました。また、一連の作業が終了した時点でNPO法人と行政の役割や作業分担の確認を実施します。環境フェアの開催について、共催者である「環境市民会議ちがさきエコワーク」との協議により、開催時期を環境政策課の繁忙期である6月から9月へと変更しました。開催時期の変更により業務の分散化を図り時間外勤務の抑制をはかります。</p>		

### 環境保全課

事業名	26年度の取組に対する評価	事業の課題
地域猫活動モデル支援事業	C	実施地域数の目標を達成できませんでしたが、実施している地域全体での合意形成がなされ、市への苦情が無くなるなど、この手法による成果は出ています。そのため、今後も問題を抱えた地域への説明会実施やボランティアグループの育成により実施地域数の拡大を図っていきます。
公衆浴場支援事業	B	現状のニーズ等を踏まえ、事業内容を検討する必要があります。(過去の実績 H24年度：2浴場、H25年度：2浴場)
美化推進事業	A	海岸におけるごみについては、ボランティアによる清掃が行われている一方で、海岸利用者によるごみ（バーベキュー等）の不法投棄などが発生しています。ゴールデンウィーク、シルバーウィークの大型連休には、庁内関係課連携のもと啓発パトロールを実施していますが、夏季や土日祝日の全てには対応できていません。
<b>広域連携及び公民連携の視点</b>		
<p><b>【公民連携の視点】</b> 地域猫活動モデル支援事業については、協力していただけるボランティアグループの育成も含め、市との連携体制を深め、地域全体の合意形成へと導いていきます。美化推進事業については、誰もが安全で快適に楽しめる茅ヶ崎海岸を創出するため、市民活動団体等との協力関係をさらに一層進めていきます。</p>		

### 資源循環課

事業名	26年度の取組に対する評価	事業の課題
ごみの減量化・資源化に関する支援業務	B	できる限りの機会を捉えて、啓発を行ってはいるものの、事業開始から20年余りが経過し、新規需要が頭打ちとなっていると思われるため、他の支援事業を検討する必要があります。
資源化促進事業	B	燃やせるごみ、燃やせないごみの中には、資源化できるものが多く混ぜられてしまっています。資源物の適正排出の啓発を推進するとともに、新たな資源物の分別についても検討していく必要があります。

ごみの排出抑制推進事業	B	1人1日あたりのごみ量については確実に減少傾向にあり、自治会等との協調体制をさらに推進していく必要があります。
ごみ減量化・資源化基金に関する事務	B	目標値については、社会情勢に大きく左右されるため、たとえ未達成になったとしても、やむをえない部分があると考えます。ただ、できる限り目標を達成できるよう努めていく必要があります。
<b>広域連携及び公民連携の視点</b>		
<p>【広域連携の視点】 粗大ごみ処理施設の整備については、平成27年4月1日から寒川町から排出される不燃ごみの受け入れを実施していることから、不燃ごみの品目の整理について、引き続き検討を進めます。</p> <p>【公民連携の視点】 粗大ごみ処理施設の整備については、経営改善方針にも示しているとおり、平成27年度実施予定の基本構想の策定にあたっては、PFI事業等の民間活用手法の導入の検討など最適な事業実施主体の決定について引き続き検討を進めます。</p>		

環境事業センター

事業名	26年度の取組に対する評価	事業の課題
職員の労働安全管理事務	C	交通事故及び労働災害等の発生件数が目標値0件に対して交通事故件数が6件の結果になり、評価をCとしました。（車両事故6件については過失割合0%も含まれています。）今後も現在実施している講習等の他26年度より実施しているヒヤリハットの情報共有も強化したいと考えています。
動物死体の収集運搬処理事業	A	受益者負担の適正化については、周辺自治体とのバランスや関係自治体との協議を進め検討する必要があります。第3次実施計画において平成29年度の飼育動物死体処理に係る手数料改定を位置づけています。
広域処理に伴うごみの搬入業務	A	受益者負担の適正化については、周辺自治体とのバランスや関係自治体との協議を進め検討する必要があります。第3次実施計画において平成29年度の一般廃棄物処理手数料改定を位置づけています。
<b>広域連携及び公民連携の視点</b>		
<p>【広域連携の視点】 リサイクル展示室の運営事業について寒川町は本事業への取り組みがなく、町民へ開放により共同運営が可能であり、その手法の協議を開始しました。 27年度から新たに寒川町の不燃ごみを受け入れ処理することで、広域連携の取り組みを一層図って行きます。</p>		